

シャンティの絵日記

今日はこんな日

2012年5月



今月は大変な事が起こりました。いろんなことにあらためて感謝！

はじめに

今月は、大変な事が起こりました。わたしのお父ちゃんが心筋梗塞で倒れ生死の境をさまよい、助かって後遺症が残ると言われ、いろいろと覚悟を決めたわたしでした。でも、おかげさまで命が助かったうえ、後遺症までも無く、奇跡の生還を果たしました。年齢は、81歳。お父ちゃんとわたしたちはいろんな方々にお世話になりました。まだ、入院生活は続きそうですが今月この日記をこんな明るい気持ちで書ける事がとてもしあわせです。もう、お父ちゃんは車に乗れないとか、過度な仕事ができないなど退院後はこれまでとおなじにはいかないのでわたしもちょっと、生活をあらためる部分が出て来るとは思いますが、まだ、くわしく考える余裕はないかな？自分のこともいろいろ考えるきっかけとなった1ヶ月でした。そして、すべてに感謝！の日々でした。

他の本はこちら

[シャンティーの本いろいろ](#)

日常のブログは

[シャンティーの日記](#)

そして、お仕事の事など私のメインサイトはこちら

[シャンティーのイラストレーション通信](#)

今月は登場しないキャラクターもありますが、下がわたしの家族です。

家族紹介

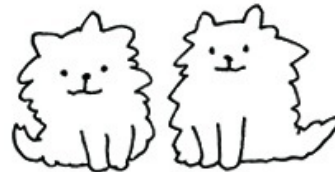


主人です。メインの仕事は潜水士。
そのほか、カヌーインストラクター、
農業、整体師、みんなパワフルにこなしています。

わたし、シャンティー。イラストレーターです。
二胡もやってます。パン作りも趣味。



グレーのトラがモン（メス）。
黒がスー（オス）。
室内飼いのお嬢様とおぼっちゃま。



向かって左がハナ、右がモモ。
ハナとモモはスピッツ系のミックス姉妹。
我が家の愛犬たちです。
2匹は女の子です。



お隣に住んでいた飼い主が
ご高齢のため飼えなくなり
外でお世話させていただいてるネコちゃん。
たぶん親子で、黒くて白い足袋を履いたのが
お母さんのクー。白ベースのミケがチー（メス）。



うちには、
この黒い烏骨鶏のウコちゃんをはじめ
東天紅、名古屋コーチン、
白色レグホンの合計20羽の
ニワトリがいます。

」：



仕事してたら壁に大ムカデがっ！ああ、今年もまたそんな季節がやってきた。本当はムカデを退治するのは嫌だけど、仕方なしに「凍殺！」スプレーであの世へ行っていただきました。ごめんなさい、ムカデさん。



ムカデは、つがいでいるという。昨日に引き続きまたまた大ムカデの登場！たぶん、昨日のムカデと夫婦だったんだなと思うとかわいそうで申し訳なかったけど、やっぱり「凍殺！」スプレーであの世に行っていた。心よりごめんなさい。南無阿弥陀仏。それにしても「凍殺！」スプレーの威力はすごい。ほんと、一瞬であります。



ムカデ用の「凍殺！」スプレーが、去年の使い残りしかなかったのと、2階にも置いておきたいと思ってホームセンターに買いに行ったら、残り1本でございました。やっぱりみなさんコレ使ってるのね。



畑で草引いてたら、なにやら視線を感じるのでふと見たら、タヌキが座ってわたしを見てた。うちの周辺のタヌキはみんなハゲハゲなのよね～。



今日は、こんな人を見て驚いた！



実家にムカデの「凍殺！」スプレーをあげたらさっそく、ムカデが出たらしく、その威力にいたく感激してもらった。さっそく実家も追加の一本を買う気になったそう。



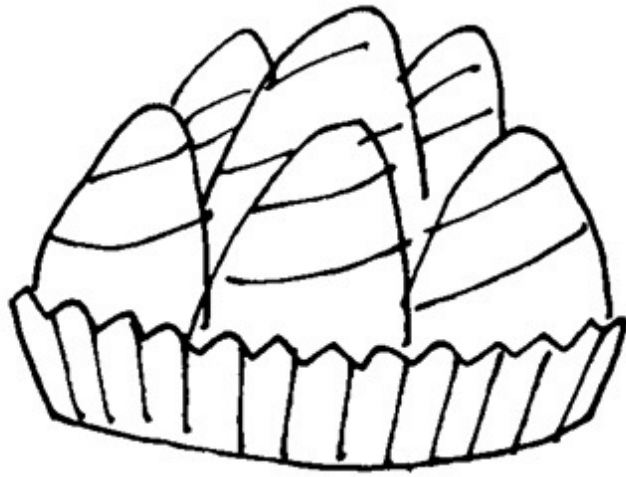
歯医者さん通いがまた続き、なんだかあちこち悪くなってきているように思って心配になって「わたし、歯茎とか大丈夫？まだ、保つかない？」って、歯科衛生士さんに聞いたら、まだまだたくさん歯も残っているし大丈夫よ！と言ってもらって心底ホッとした。そんなことが気になる歳！？なわたし。



最近、雷が多い。で、雷って「雨に田んぼ」って字だし、別名「稲妻」も「稲の妻」って書くよな～～、なんてふとそんな事を考えた。どちらも田んぼに関係がある文字なのはなぜかなあ？



今日は、ビニールハウスに水をやりに行ったらいきなり通り雨に遭う。そして、おっそろしい雷が！怖くて怖くて必死になって水やり終了！あわてて車に飛び乗りさっさと帰る！



鳥羽で仕事の取材があって、帰りに久しぶりに「梅花堂」のパンを買って帰る。学生時代から大好きだったんだもん。今もお店があるのがうれしい。



お思いっきり仕事したぞ~~~~!



明日は、イタリアンレストラン「トスカーナ」での二胡演奏。でも、仕事満載なので練習なしで本番～！のようです。



「トスカーナ」での二胡演奏のため髪の毛をコテで巻き巻き～、が、ほっぺにジュッ！
ああ、またやっちゃったあ。



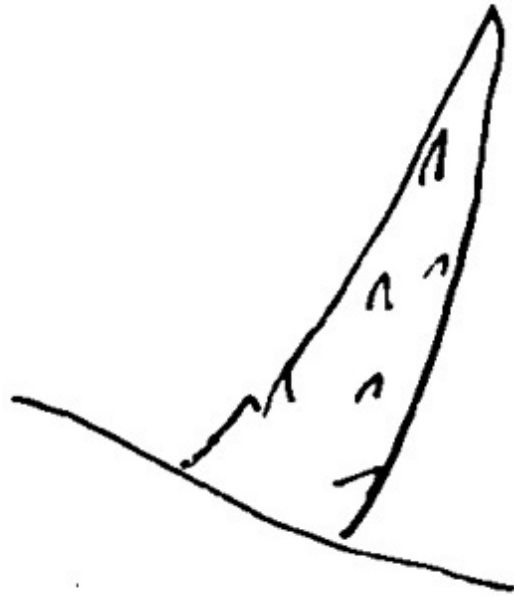
昨日、コテでやった火傷が、今日はくっきり！んもうっ！



近頃、モンの甘え方がハンパない！



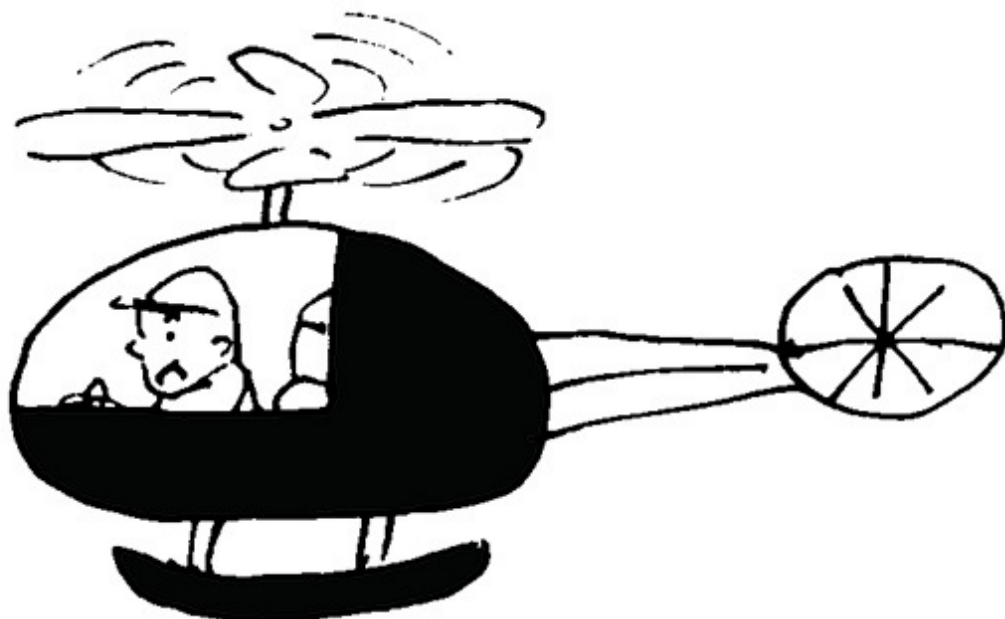
ムカデ除けに「ナフタリン」、もしくは「香りムシューダ」が効くと聞いてさっそく「香りムシューダ」を買ってきて各部屋に置く。ふんわりいい香りで、これでムカデも来ないならなんてスバラシイのだろ！



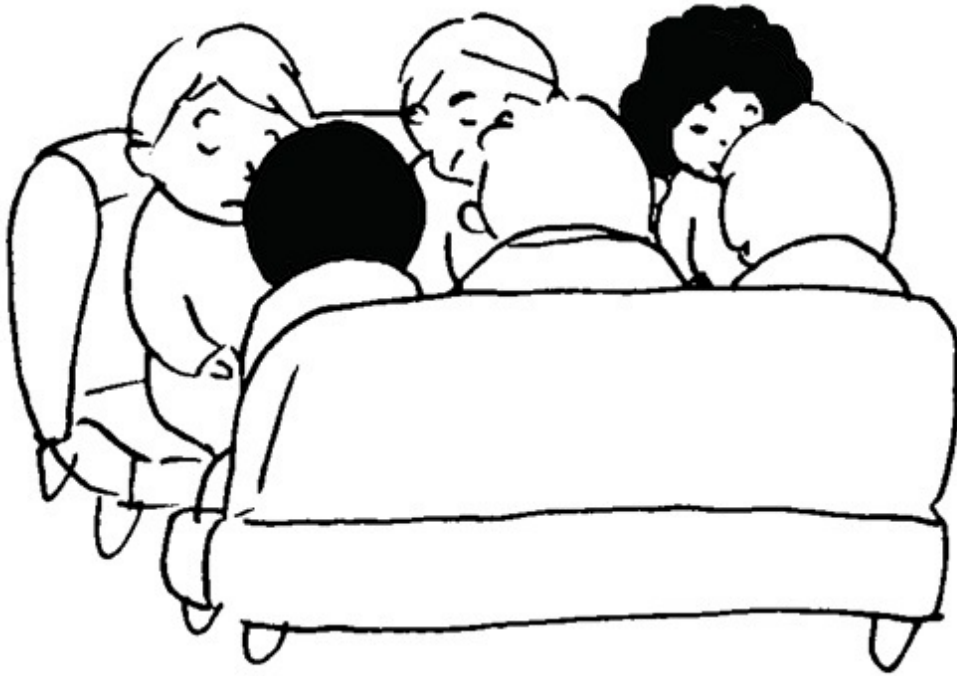
車で走っていたら、道の脇にによつきりタケノコが突き出していた。コレがまるで恐竜のシッポのようだった！



今月も後半仕事一色の生活に突入！というわけで本格的に仕事スイッチON!



お父ちゃんが倒れた！救急車で志摩病院へ運ばれる。でも、どうにもならず今度はばたばたと伊勢の日赤へドクターヘリで移動！お父ちゃんの心臓は何度も止まって、かなり危険な状態だと先生に告げられる。ああ、お父ちゃん！



手術中も何度もお父ちゃんの心臓は止まり、依然危険な状態のまま。昨日の時点で、近い身内を呼ぶように先生に言われ、今日は、親戚の人たちがたくさん来てくれた。病名は心筋梗塞で、もし命が助かってても何度も何度も心臓が止まったので後遺症が残る可能性があるとのこと。そんなわけで、いろいろと覚悟を決める1日となる。

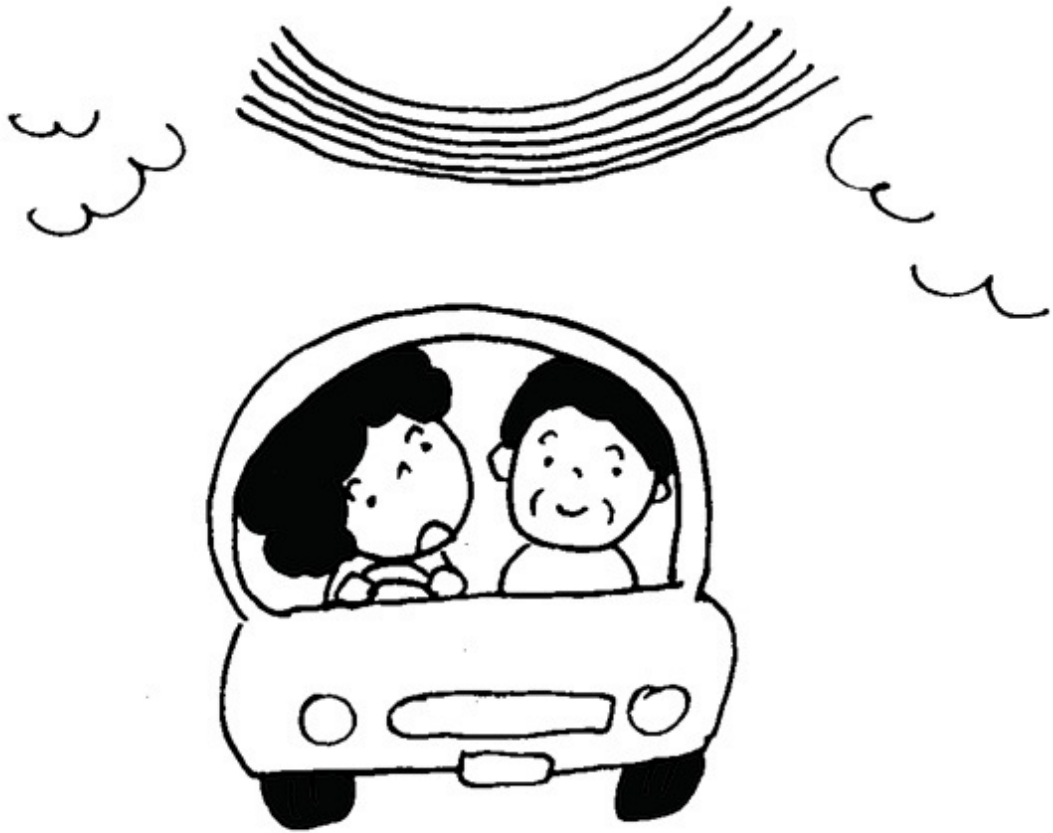


病院の泊まりを主人に替わってもらい、家で仕事をする。でも、今朝は、感動の金環日食を見る事ができた。今にも雲に隠れそうな中、最後の最後までこの目に焼き付けることができた。終わった瞬間厚い雲が太陽を覆った。お父ちゃんが、金環日食を見せてくれたのだと思った。しんみり神聖で不思議な朝だった。今日の金環日食は、ずっと忘れないだろうなあ。

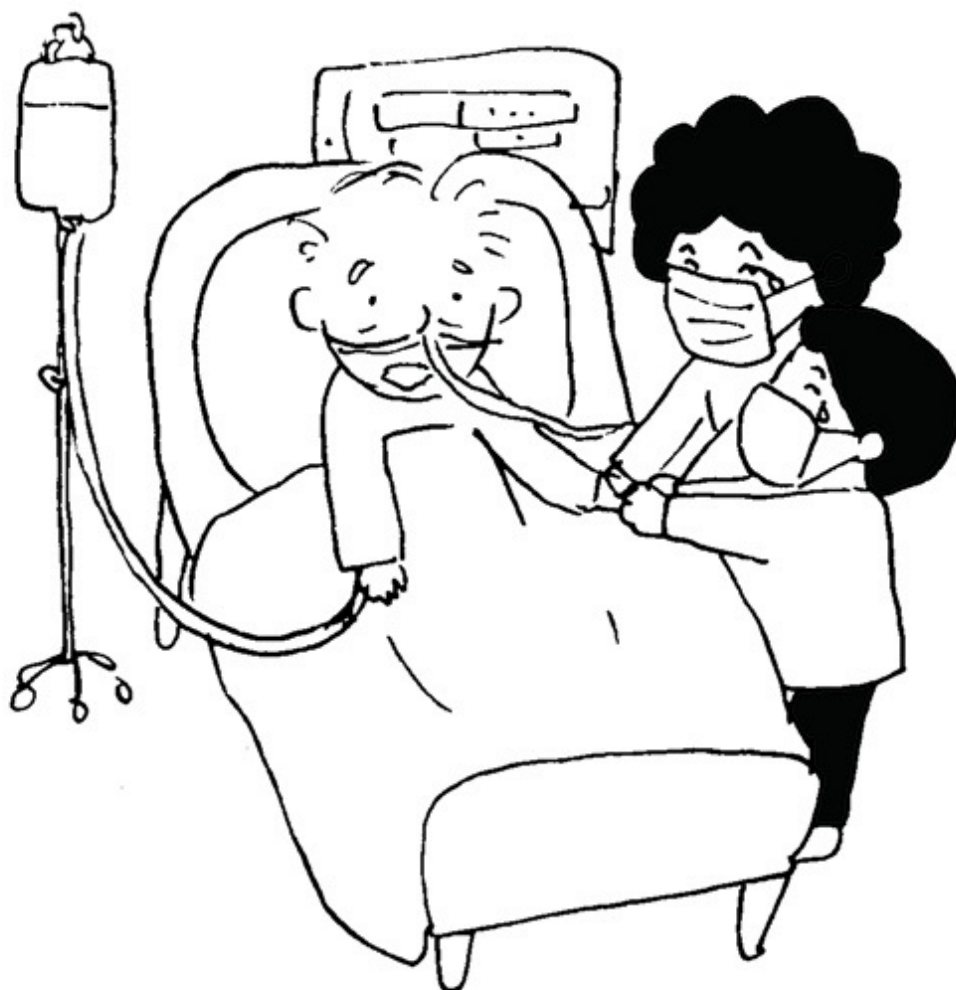


朝から病院へ行って、また仕事のため家に帰ったけど、帰ってすぐに主人からお父ちゃんの意識が戻ったとの連絡が入る。お父ちゃんは、主人のことが認識でき、お母ちゃんとわたしにも会いたいと言っていると

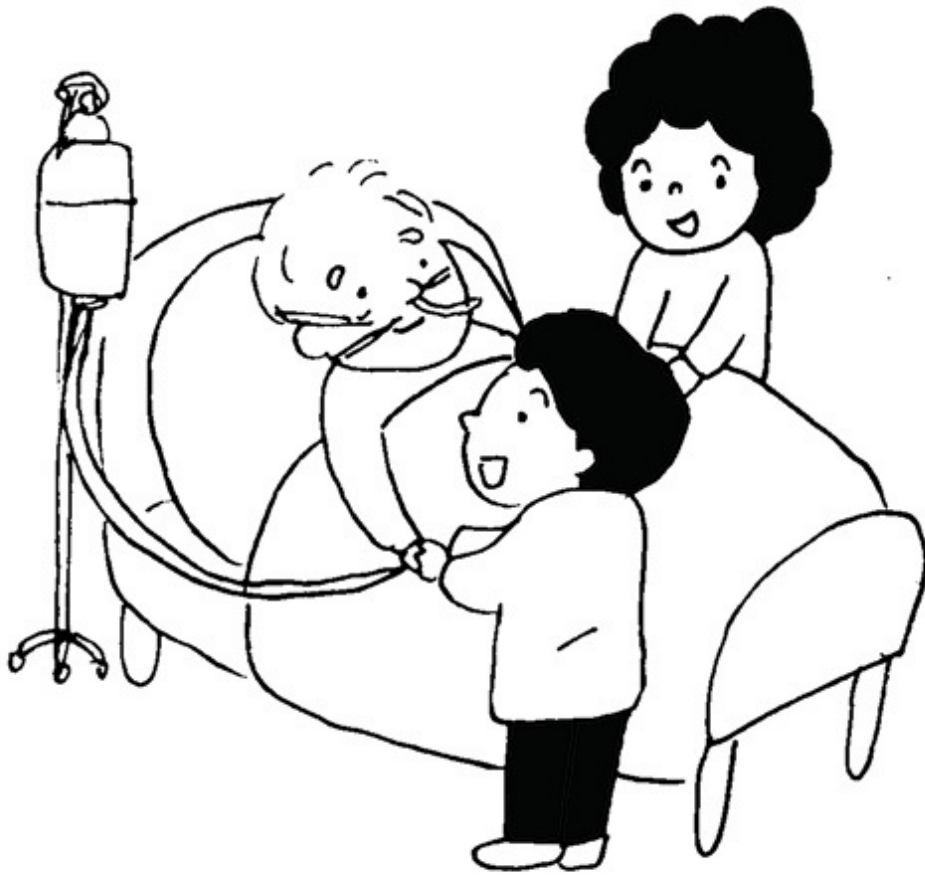
ということで、すごくうれしくなり、とんぼ返りでまた病院へ行きお父ちゃんのいるICUへ。お父ちゃんはまだ、しゃべれなかったけど言葉はわかるようになついで応えてくれた。左半身が、まったく動いていないようだった。後遺症なんだろうなと思った。でも、どんな状態でもうれしかった。帰りに大きな大きな虹が出ていてその真ん中をくぐるように帰ってきた。感動の1日だった。



今日もお母ちゃんと病院へ行く。病院の近くまで行ったら真上に逆さにかかる虹を見た。また、なにかいい予感がした。予感通りICUでのお父ちゃんは、きのうよりもずっと良くなっていた。昨日は、全く動かなかった左半身が、動いて、記憶もしっかり残っていた。話も大丈夫な感じにまでなっていた！やっとICUから出られるとのこと。



やっとICUから出て観察室に変わったお父ちゃんは、今日は、ますます良くなっていた。おとといまでは、まだ油断できない状態だと言われていたので、驚きの快復！神様！奇跡をありがとうございます！



お父ちゃんが、一般病室に移った。もう、大丈夫！ああ、ほんとうによかった！この1週間は、なにか、夢の中にでもいるようだった。先生や救急隊の方々、そして、病院のみなさま、そして、心配してかけつけてくださった親戚のみなさん、また、仕事関係、お友達、みんな、みんな、ほんとうにありがとうございました！



お父ちゃんの入院は、まだ続くのだけど、実は、お父ちゃんが倒れてからずっと仕事も山積み状態で、昼間は病院、夜は仕事の日々でした。今日は、お母ちゃんも疲れが出てきてめまいを感じるのとこのことで病院へは行かず一日仕事をする。



やっと、仕事に一段落。本当は今日は、伊勢の「カーザ・ビアンカ」さんでのライブの予定でした。一週間前お父ちゃんが倒れ、のち5日間はまったく先が見えない状態だったので、延期をお願いしました。快くご承諾いただいてほんとうにありがとうございました。そして、すみませんでした。いろいろな方に助けられて生きているんだなと感謝しつつぐったり眠りにつく1日。



お義母さんとお母ちゃんといっしょにお父ちゃんのいる病院へ行く。家族っていいな、とあらためて思う。主人にも今回いろいろ助けてもらった。ありがとう！



今月は、お父ちゃんのことがあり、留守番が多かったモンは、皮膚のアレルギーが出てしまった。病院でもらった薬を飲むのにおいしい缶詰に混ぜるんだけど、これがおいしすぎるようでほしがって仕方ない。つい4つもやってしまった。知らないぞ~~!



タベ缶詰を食べ過ぎたモン。案の定朝早い時間にお腹をこわしたみたいで大騒ぎしながら寝室にあるトイレで用を足したもよう。その大騒ぎとすごい臭いで起こされる！



お父ちゃんの主治医のH先生にお話を聞く。「お父さんが助かったのはほんとうに奇跡的だとみんなとも話しているんですよ。」とのことだった。ほんとうに、危険な状態だったんだな～。先生、救急隊の皆様、看護師の皆様、そして、ご心配くださった親戚の皆様、仕事関係、お友達の皆様、ほんとうにほんとうにありがとうございました！